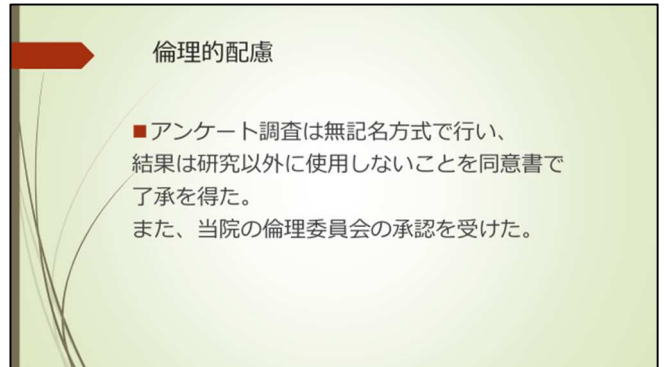
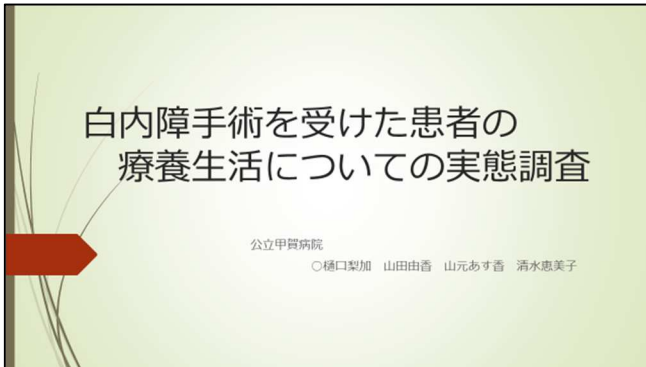
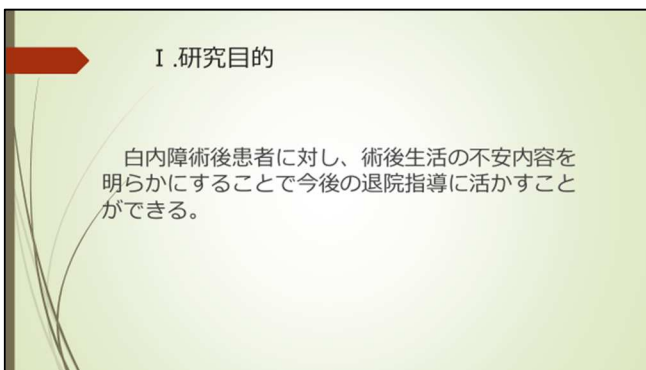


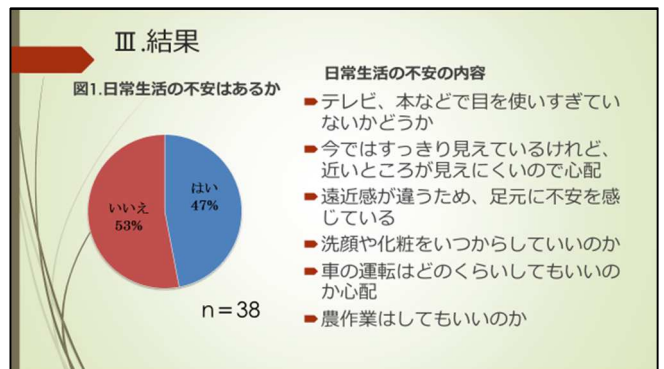
演題 262	白内障手術を受けた患者の療養生活についての実態調査
	発表者 樋口 梨加 (滋賀県 公立甲賀病院看護部) 共同研究者 山田 由香、山元 あす香、清水 恵美子



倫理的配慮はスライドをご参照ください。



研究目的は白内障術後患者に対し、術後生活の不安内容を明らかにすることで今後の退院指導に活かすことができるとしました。

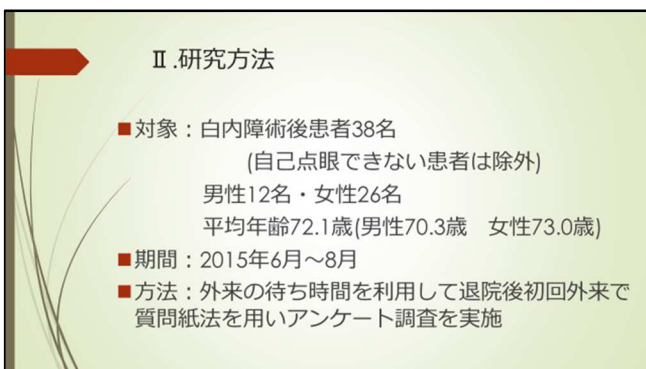


結果です。図 1.の日常生活の不安はあるかの質問ではn数 38名で、はいが 47%、いいえが 53%でした。

不安の内容として、

- ・ テレビ、本などで目を使いすぎているかどうか
- ・ 今ではすっきり見えているけれど、近いところが見えにくいので心配
- ・ 遠近感が違うため、足元に不安を感じている
- ・ 洗顔や化粧をいつからしていいのかが心配
- ・ 車の運転はどのくらいしてもいいのかが心配
- ・ 農作業はしてもいいのかが心配

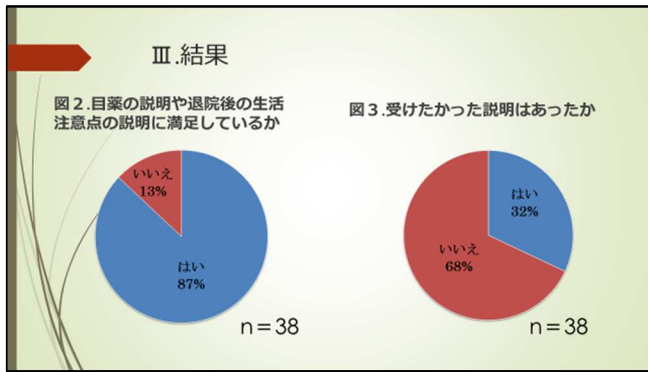
というものでした。



研究方法です。

対象は白内障術後患者 38 名で自己点眼できない患者は除外しました。

男性 12 名、女性 26 名。平均年齢 72.1 歳でした。期間は 2015 年 6 月から 8 月までとし、方法は外来の待ち時間を利用して退院後初回外来で質問紙法を用いアンケート調査を実施しました。



続いて、図 2.の目薬の説明や、退院後の生活注意点の説明に満足しているかでは、はいが 87%、いいえが 13%でした。

図 3.の受けたかった説明はあったかでは、はいが 32%、いいえが 68%でした。

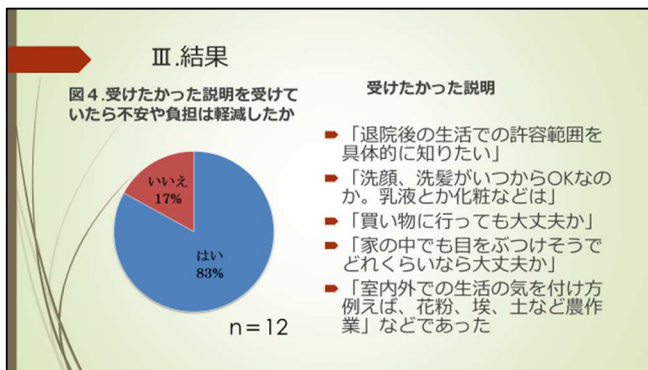
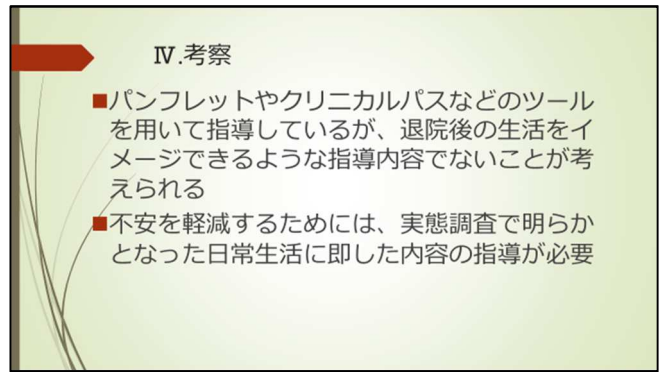


図 4.は図 3.の結果で「はい」と答えた方に質問をしました。

受けたかった説明を受けていたら不安や負担は軽減したかに関して n 数 12 名で、はいが 83%、いいえが 17%でした。

受けたかった説明内容は、

- ・退院後の生活での許容範囲を具体的に知りたい。
 - ・洗顔、洗髪はいつからしてもいいのか、乳液や化粧などはいつからしてもいいのか。
 - ・買い物に行っても大丈夫か。
 - ・家の中でも目をぶつけそうで、どれくらいなら大丈夫か。
 - ・室内外での生活の気を付け方。例えば、花粉、埃、土など農作業に関すること。
- でした。

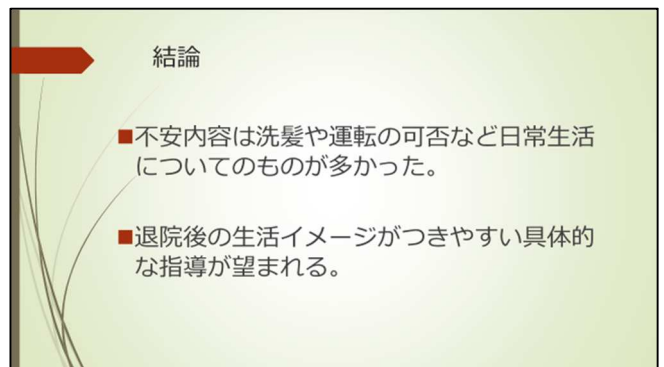


考察です。

パンフレットやクリニカルパスなどのツールをもちいて指導していますが、退院後の生活をイメージできるような指導内容でないことが考えられました。

不安を軽減するためには、実態調査で明らかとなった日常生活に即した内容の指導が必要であると考えます。

そして、生活習慣の中で困るであろうことを察知し、一方的な指導にならないよう配慮しながら、指導後には理解度も確認していくことが必要であると考えます。



最後に結論です。

術後生活の不安内容は、洗髪や運転の可否など日常生活についてのものが多かった。

退院後の生活イメージがつきやすい具体的な指導が望まれている。

今回の結果から得た内容を含めた退院指導を検討していきたいと思えます。

